



北東部

ユース・リーダーズ・アクト 2020

報告書



日程：2020年2月15日（土）～16日（日）

場所：2月15日 栃木県芳賀青年の家

2月16日 宇都宮市清原体育館

主催：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部・とちぎYMCA

運営：北東部ユース・リーダーズ・アクト2020実行委員

〈とちぎYMCAユースボランティアリーダー〉

神原 響（ふっか）・神田 悠香（ゆう）・古谷 真菜（まなぴん）

〈とちぎYMCAスタッフ〉

濱塚 牧人（トマト）・荒井 浩元（マリオ）



ご挨拶

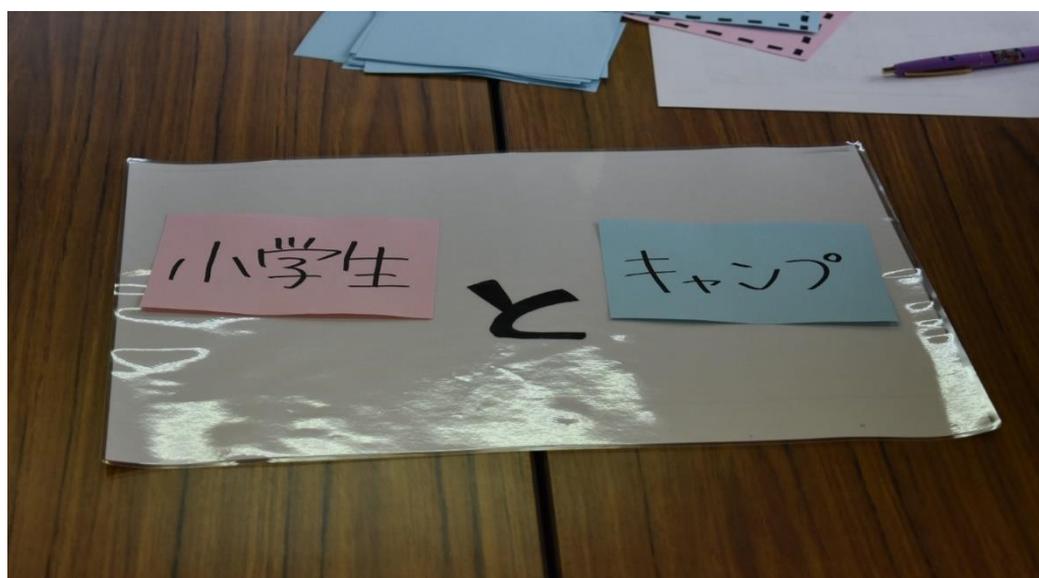
2020年2月15日、16日の両日、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部・とちぎYMCA主催の『北東部ユース・リーダーズ・アクト2020』が開催されました。

15日には、栃木県芳賀青年の家で「相手を知り、自分に気づく」をテーマにフォーラムディスカッションを主に行いました。とちぎ・盛岡・千葉のユースリーダー・スタッフ（OG含む）29名にワイズを含む総勢36名が「今の子どもを取り巻く世界と剥奪指標」について話し合いました。夕食の時間では、京都YMCAのドッジボールチームの選手21名・とちぎYMCAのドッジボールチームトライ∞の選手25名に指導者・保護者を含む総勢110名も加わり賑やかな食事となりました。食後には体育館でキャンドルファイヤーを行い、盛岡・千葉・京都・とちぎの子どもからユースリーダー・ワイズまで幅広い年齢層での交流になりました。

16日には、清原体育館で第8回とちぎYMCA杯エンジョイドッジボール大会の大会運営支援を、とちぎ・盛岡・千葉のユースリーダー・スタッフ（OG含む）25名で行いました。前日に交流を行った京都YMCA童夢を含め栃木・茨城・群馬・埼玉・東京のドッジボールチーム36チームが参加しました。

第6回目となるこの北東部ユース・リーダーズ・アクト2020の開催にあたり、ワイズメンズ東日本区・北東部・宇都宮クラブ・宇都宮東クラブから多大なご支援をいただきどうもありがとうございました。

北東部ユース・リーダーズ・アクト2020 実行委員 一同





御礼

宇都宮ワイズメンズクラブ
大久保知宏



2020年2月15日、16日に開催されたユース・リーダーズ・アクト2020は、ワイズメンズクラブ国際協会北東部のユース育成事業として行われました。盛岡、千葉、とちぎの各YMCAのユースが実行委員を含んで29名集い、「子どもの貧困」を剥奪指数から切り口に話し合いが行われました。この活動に参加して思うことは、YMCAに集うユース

たちは、YMCAの日頃の活動を通じて、間違いなく成長していて、活動の時に自律的な組織になれるということです。「自律的」という要素はすべての組織に求められることですが、実現できないことと思います。アクトは、企画から運営までユースの実行委員会が行い、ワイズは、その進捗をお聞きするというスタイルで実施されます。今回も、適切なタイミングでの連絡があり安心していました。

内容としても、社会的な課題として重要なテーマを掲げて、話し合いが単調にならず、活発に行わせる工夫があって楽しめるものになりました。盛岡から参加したワイズからもユースの成長が感じられる良い活動であったとの感想をいただいています。

北東部としては、来年度以降もユース・エンパワーメントの実現の場として、ユース・リーダーズ・アクトを捉えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。





御礼

北東部ユース・リーダーズ・アクト 2020
実行委員長 神原 響（ひっか）



今回、北東部ユース・リーダーズ・アクト 2020 がたくさんの方々のご参加をいただき、無事に開催できましたことに心より感謝申し上げます。

実行委員の話し合いが始まったのは約半年前のことでした。一体何をしようか、どのような内容なら充実したものになるのか、そんなことを考えながら一からスタートし、気づけばあっという間に当日を迎えることになりました。リーダーズ・アクトが開会したときにはこれからどうなっていくのか、参加者の皆様にどのように楽しみどのようなものを得て帰っていただけるのか、とても緊張しながらも期待に胸が踊りました。ディスカッションや全員での夕食、キャンドルファイヤー、そしてエンジョイドッジボール大会と実際に 2 日間を終えてみると、全て私たちが考えていたこと、想像していたこと以上のとても充実した 2 日間となりました。

芳賀青年の家での夕食やキャンドルファイヤーでは、所属に関係なくごちゃまぜになって行いました。参加者の方々は YMCA という繋がりでも集まり、たった数時間前に出会ったばかりです。そんな普段生活している場所も所属も年齢も異なる参加者の方々がとても親しげに話している姿や共に歌い共に楽しんでいる姿、そしてキャンドルに照らされた皆様の素敵な笑顔がとても印象に残っています。

さらに、トライ∞の子どもたちと京都 YMCA 童夢の子どもたちが、名前を呼び合い仲良く話している姿、お別れの際に笑顔で手を振り合う姿には感動し涙が溢れてきました。2 日間を過ごすなかで皆様の関係が私たちの想像以上に深まり、みんなで楽しむことができたことに、たくさんの驚きとそれ以上の喜びや嬉しさを数多く感じさせていただきました。皆様と 2 日間を過ごせましたことに感謝しております。ありがとうございました。

また、私たちだけの力ではこのようなたくさんの実りがあるリーダーズ・アクトにすることはできなかつたことと思います。たくさんの方々に様々なご支援やご協力をいただけたからこそ、今回のリーダーズ・アクトを無事に開催し、多くの笑顔を見ることができました。実行委員一同深く感謝しております。ありがとうございました。





御礼



北東部ユース・リーダーズ・アクト 2020
企画 荒井 浩元（マリオ）

沢山の方々がお支え頂き、北東部ユース・リーダーズ・アクトを開催し、盛況の内に終えることができました。参加したリーダー、子どもたちにとって素敵な時間を過ごすことが出来たことと思います。ご協力・ご支援頂きどうもありがとうございます。

今回のアクトでは、とちぎ、千葉、盛岡のユースボランティアリーダーだけではなく、ワイズメンズクラブの皆さん、とちぎと京都のドッジボールの子どもたち・保護者・指導者など様々な方が一つの会場に集うことができました。一人ひとりがアクトの期間中過ごしていく中で、それぞれの体験を生み、成長・学び・思い出の種が撒かれていく姿を見ていくことができました。いつかその種がそれぞれの場所で芽を出し、花を咲かせていくことを願っています。

また、今回はリーダー3名、スタッフ2名で実行委員会を組織し、企画・準備を進めていきました。様々なバックグラウンドを持った魅力的な4名で、とても大きな原動力となっていました。アクションを起こしていく辛さ、大変さを互いに共有しながら乗り越え、実現させていく姿は、私にとってとても勇気となり励みとなりました。実行委員のメンバーが、これからの歩みにおいてこの経験を活かし、様々なアクションを起こしていくことを楽しみにしております。

今回は、参加者にとって、実行委員メンバーにとって、素敵な時間と機会を与えてくださりどうもありがとうございました。これからも「ユース・エンパワーメント」を信じ、一步一步、歩みを進めていきたいと思ひます。





スケジュール

1日目 2月15日(土)

- 12:30 芳賀青年の家 集合
- 13:00 北東部ユース・リーダーズ・アクト 2020 開会式
- 14:00 リーダー・ワイズ対象 ディスカッションプログラム
ドッジボールチーム対象 ドッジボール練習試合
- 16:00 基調講演(とちぎYMCA 総主事 塩澤 達俊 氏)
- 17:30 夕食
- 18:30 キャンドルファイヤー
- 19:30 ドッジボール大会運営ボランティア説明会
(とちぎYMCA トライ∞帰宅・京都YMCA 童夢入浴・就寝)
- 20:00 入浴
- 22:00 就寝

2日目 2月16日(日)

- 05:00 起床
- 06:10 リーダー 芳賀青年の家 出発
- 07:00 京都YMCA 童夢 芳賀青年の家 出発
- 07:10 リーダー清原体育館到着・大会運営開始
- 08:50 開会式
- 09:30 試合開始
- 16:10 閉会式
- 16:40 片付け・解散





各プログラムの報告

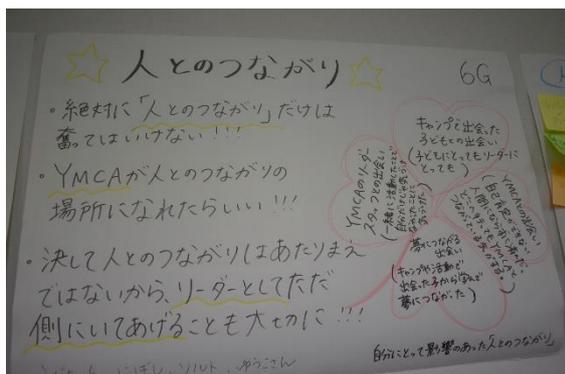
【2月15日 ディスカッションプログラム・基調講演】

記録：神田 悠香（ゆう）

「今の子どもを取り巻く世界と剥奪指標」というテーマでディスカッションを行いました。各グループでキーワードが書かれた赤いカードと青いカードを1枚ずつ引き、『「〇〇（赤いカード）」と「〇〇（青いカード）」という話し合いのお題を決めてディスカッションを進めていきました。まずはグループで自由に、次はヒントブックを参考に、最後に基調講演を踏まえて、子どもにとってのよりよい社会、必要な体験とは何かを考え、グループごとに模造紙にまとめました。大学生からワイズの方まで幅広い世代の方が参加されており、様々な目線の意見を聞くことができた機会になったと思います。1グループ4～5人の少人数だったため、一人ひとりが自分の思いを相手に伝え、相手の思いに耳を傾け、共感している姿が見られました。

基調講演は塩澤達俊とちぎ YMCA 総主事より「子どもの貧困解決に YMCA キャンプとリーダーの存在がとても有効である理由」という題で講演していただきました。今とちぎ YMCA で取り組んでいる子どもの貧困について説明していただき、その中の「子どもの居場所」を利用する子どものキャンプでの経験について話してくださいました。キャンプやリーダーが子どもに様々な経験を与えることができる素晴らしいものだと感じられました。

このディスカッションを通して、参加者の皆さんが《今を見て気づき、過去を振り返り、未来を考える》きっかけになれば嬉しく思います。





【2月15日 夕食～キャンドルファイヤー・夜の自由時間】

記録：濱塚 牧人（トマト）

夜は、トライ∞、トライ∞保護者、京都 YMCA 童夢、リーダー、ワイズメンズクラブが1か所に集い、食事の時間を持ちました。食事は、参加者に新たな出会いを感じていただくためグループ割りを設け、様々な世代や地域の方とのコミュニケーションの場となりました。また、食事の合間には各チーム、各 YMCA、各ワイズの紹介があり、歌の披露やメンバーの紹介を通して、互いのチームや所属を知る時間となりました。

その後、キャンドルファイヤーを行いました。蝋燭にともされた小さな光を見つめ、小さな光が集まり、大きな光となり、その光の下でレクリエーションや手遊びをして、盛り上がりました。その後、夜のフリータイムとなり、ユースリーダーは部屋に集まり、各 YMCA で経験したことや、出会いなどを共有し互いを自然と高め合っていました。





【2月16日 第8回とちぎYMCA杯エンジョイドッジボール大会運営】

記録：荒井 浩元（マリオ）

清原体育館にて、「第8回とちぎYMCA杯エンジョイドッジボール大会」が開催されました。今大会は、男女混合の部 24 チーム・ジュニアの部 12 チーム、延べ 660 人を越える県内外の子どもたちが参加し、「一本キャッチ」などと声援が様々なところから聞こえ、一人ひとりが楽しみながら元気に試合を行うことができました。また、今回は京都 YMCA のドッジボールチーム「京都 YMCA 童夢」を招待し、もりおかワイズメンズクラブメンバーの長岡氏による始球式の後、YMCA 同士のドリームマッチを行うことができました。

今回の大会では、とちぎ、盛岡、千葉の YMCA のユースボランティアリーダーが運営に携わりました。開閉会式運営、選手誘導、記録、設営・撤収など、ドッジボールチームの保護者やドッジボール協会の方と共に積極的に取り組んでいました。前日では、「子どもの体験」という学びを深めたため、子どもたちの豊かな体験のために自分が出来ることは何かと常に考えながら行動に移していました。また、単に大会を運営するだけではなく、フェアプレーを称賛する「グリーンカード」を子どもたちに渡し、子どもたちと関わる姿もありました。

男女混合の部 優勝：バイオレンス国田（茨城） 準優勝：シーセブン葛西（東京）

ジュニアの部 優勝 京都 YMCA 童夢（京都） 準優勝：ブルーイースターズ Jr（栃木）

※参加チーム地域：栃木、茨城、群馬、埼玉、東京、京都





ユースボランティアリーダー感想

● 盛岡 YMCA スタッフ 野澤 朋華（さかな）

とちぎ YMCA の皆様、盛岡 YMCA を温かく迎え入れて下さりありがとうございます。スタッフをはじめ、リーダーの皆さんが明るく元気で、すぐに溶け込む事が出来ました。またこの日のために準備してくれたおかげで、2日間スムーズに行う事が出来ました。グループディスカッションでは、色んな議題について話し合いをしましたが、今、身近にいる子どもについての議題は、自分にとって皆さんからの意見が大変勉強になりました。リーダーだけでは無く、ワイズメンズの方々の意見も聞くことが出来て、違う目線からの意見はとても新鮮なものでした。

そして、私が特に印象に残っているのは、2日目のエンジョイドッチボールの大会運営です。私自身もスポーツをしている為、楽しみにしてきました。子どもたちが伸び伸びとプレー出来るのは、運営者の動きがあってこそ成り立っているとつくづく感じました。プレー者側では気付けなかった運営者側の活動を出来て、たくさん勉強になりました。ありがとうございました。

● 盛岡 YMCA スタッフ 相馬 みなみ（ミニオン）

初めてリーダーズアクトに参加して、初めて他の県の YMCA の方々とお会いしてすごくみなさんフレンドリーで親しみやすかったです。グループディスカッションでは普段話さないようなテーマで色んな人の考え方や自分の知らないことを知ることができてすごく勉強になりました。

二日目のドッチボール大会では子供たちの頑張っている姿やたくさんいい試合があったので見ていてすごく楽しかったのでまた見たいと思いました。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー4年 岡田 稜平（みんな）

今年も、とちぎ YMCA と今年も交流の機会をいただきました。

今年は、ディスカッションの機会を頂きました。ディスカッションでは、キャンプやサッカーなどなかなか経験をするので出来ないことを、経験させる場を提供することがリーダーの役目であることを改めて感じました。それだけでなく、食事などの普通のことが満足できていない人のことを知りました。そういったことを含め、子供たちに色々な機会を与えてあげたい。そう思えるいい機会になりました。

ドッジボール大会はやはり今年もアツかったです。一つの目標に向かってチーム一丸と



なっている姿はとてもカッコ良かったです。今年から導入されたグリーンカード制度がありました。輝いていた選手に対してあげるものです。私はとあるチームの選手にグリーンカードをあげました。すごく喜んでくれました。ただ、私が一番嬉しかったのは、もらった選手の周りにいた選手、監督、コーチ、親御さんたちもうれしそうだったことです。他人の幸せを当然のこのように喜べるチームで、すごくいい雰囲気だなあと感じました。

2日間、いろいろと迷惑をかけましたがお世話になりました。またいつか会えたらいいなと思います。私は18年間栃木に住んでいましたが、こんなにいい人たちが近くにいたのかと毎回驚かされます。また会う機会があればお世話になりたいです。改めてありがとうございました。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー3年 小岩 壮太（いわぞん）

昨年に引き続き、今年もとても楽しい2日間を過ごすことができました。普段全く交流のない北関東のYMCAとのディスカッションはとても新鮮で、1人だけでは考えきれないたくさんの視点から話し合いが進みました。そして、グループにおける一人一人の役割について考えさせられました。意見をぶつけたり、擦り合わせていったり、時には引き合ったりしながら進めていくディスカッションを通して、充実感を得ることができました。

2日目は主にドッジボール大会のボランティアをさせていただきました。子どもたちの真剣な表情に、我々も応えようと思い、裏方役に徹することができました。チームとは何なのか、なぜチームで行動するのか。普段水泳教室やサッカースクール、野外活動などに行っている私たちに、深く考えさせられるきっかけを、ドッジボール大会に参加していた子どもたちは教えてくれた気がしました。

学びと笑いに包まれた2日間を過ごすことができたのは、この日までリーダーズアクトやドッジボール大会の準備をしてくださった皆様のおかげです。本当に素敵な2日間をありがとうございました。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー3年 千葉 文彦（つよぼん）

昨年に続き、2度目の参加をさせていただき新たな人との出会い、昨年知り合ったリーダーたちとの再会などだれかとのつながりを感じられる2日間でした。

1日目のディスカッションでは単語カードの組み合わせで短い時間で話し合う内容が変わり、今まで考える機会がなかった問題についてもグループの中で意見を交流することができ新鮮な体験でした。また、塩澤総主事のお話では「子どもの貧困」についての現状やそれに対して行っている活動、何が問題なのかを知ることができ、盛岡YMCAのリーダーとしてこれからの活動の中にそのような子どもに対するアプローチもしていきたいと感じ



じました。夕食やその後のキャンドルファイヤーで子どもたちや保護者さん方とも交流することができ、ドッジボール大会の時に昨年度よりもいろんな声をかけることができたし、何より子どもたちと一緒に遊ぶ楽しい時間を持てたことがうれしかったです。夜はリーダーたちで話したり、ボードゲームをしたり交流を深めることができました。

2日目のドッジボール大会では運営のためにリーダー同士で協力することができました。また、子どもたちの一生懸命な姿を見てこのように子どもが輝ける環境づくりの大切さを感じることができました。私がリーダーとして活動できる期間はあと1年しかありませんが、活動の中で子どもたちの生き生きする姿をもっと引き出せるよう工夫していきたいと感じました。

最後に今回のリーダーズアクトを企画し運営してくれたとちぎYMCAのリーダー、スタッフの皆さん、とても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー2年 榊原 夢花（にほし）

私は盛岡以外のYMCAの方々と話すことが初めてだったので今回とても刺激的な活動になりました。栃木、千葉のYMCAの雰囲気や、活動のシステムなどが盛岡とはまた違った良さを持っていてとても素敵だと感じました。

ディスカッションでは、「今の子供を取り巻く世界と剥奪指標」をテーマに、自分たちの活動経験を元に子供たちや社会、自分たちについて話すことが出来ました。子供たちのためにこんなにも考えることが出来るYMCAの人達はやはりすごいと感じました。そして、このような集団の中にいられることもすごいことだと改めて思いました。

2日目のドッジボール大会では、小学生とは思えないほど迫力のあるプレーに驚きました。自分の仕事をしながらも、もうずっと見ていたいと思うほど面白い試合でした。そして、子供たちの丁寧な挨拶、諦めないプレー、チームとしてのまとまりにも驚きました。応援したくなるようなチームばかりで本当にすごいと思いました。

2日間あっという間に過ぎてしまいましたが、自分の考えを深め広げられ、感動や驚きが沢山ある活動になりました。本当にありがとうございました！

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー2年 佐藤 彩苗（ほや）

私は栃木県で2月15、16日に行われた北東部ユース・リーダーズ・アクト2020に参加しました。

1日目は交流会とディスカッションが行われ、そのディスカッションでは「子供の貧困」について話し合いました。日本の子供の相対的貧困率は国際的に見て高い比率にある



こと、貧困といっても金銭面といった「見える貧困」とつながりや体験等の欠如という「見えない貧困」があることを知り、リーダーだけではなく、スタッフやワイスの方々も交えて話し合うことで大変勉強になりました。私の中ではその「見えない貧困」という言葉が強く印象に残っており、その中で子供達に必要な体験とは何かについてとても考えさせられ、YMCAの活動をしていく上で大切にしていきたいテーマだと思いました。

2日目はエンジョイドッジボール大会の運営に携わりました。そこでは男女関係なく仲間と協力して全力でドッチボールをする子供達の姿があり、見ていてとても心を打たれました。試合の中では勝負に勝って喜ぶ姿、思うような結果が出ず悔しい姿と様々な姿があり、試合を通して子供達が成長している様子を間近で見ることができたこと、その成長を支えるお手伝いできたことがとても嬉しかったです。

この2日間を通し、多くのリーダー、スタッフ、子供達と関わることができました。今回得たことをこれからのYMCAの活動やその他の生活場面への糧にし、人として成長していきたいなと思います。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー1年 十文字 堅斗（おび）

はじめに今回は北東部ユース・リーダーズ・アクト 2020に参加させていただきありがとうございます。

1日目のディスカッションでは様々な世代の人が出されたお題に対して意見や考えを出し合うことで普段の生活では考えないような深い内容まで考えることができました。その中でも、離婚の問題が印象に残っています。離婚が原因でその子どもにも金銭的な問題、愛情を受けられないといった大きな影響があることに衝撃を受けました。今回のディスカッションでのまとめでは「愛」が重要であるという結論に至りました。私はどんな時に辛い時でも、だれに対しても愛をもって接することが今後の人生を自分自身だけでなく周りの人たちも豊かなものができるのではないかと考えます。

また、講演では、普通に生活できているように見えても実際は厳しい貧困のなかでギリギリの生活をしている家庭が多く存在している日本の状況に衝撃を受けました。私はこの問題に対して直接的な支援はまだできないですが今回この問題について知れただけでも私にとってプラスになりました。

2日目では全力でドッチボールに取り組む子どもたちの姿を見て、全力でドッチボールに取り組み最後まで諦めない姿に感動しました。グリーンカードの存在を始めて知りましたが、競技の上手いや下手関係なくフェアプレイや試合中の態度といった人間性を見ての評価は競技の結果よりも大切なものだと思うので今後も多くの競技で導入されるべきだと考えます。

また、運営側を経験してどんなことも支えがあって成り立っているのであると改めて感じました。私も盛岡 YMCA の活動の中で体操教室、水泳教室、野外活動に参加させてい



ただいいますが、その活動が行えるのも様々な人の支えがあって成り立つのだと考えさせられました。

感謝の気持ちを忘れずこれからも生活していくことが大切であると思う2日間でした。本当にありがとうございました。

● 盛岡 YMCA ユースボランティアリーダー1年 星野 太志 (ゲン)

そもそも盛岡以外のYとの交流が初めてだったので緊張と楽しみが混じった不思議な気持ちで栃木へむかっていました。初めて会うリーダーや子ども達と仲良くやっつけられるように自分なりに努力はしましたが、先輩リーダーたちのように上手くはいかず、まだまだだと自分の力不足を実感しました。子どもとの関わりかたもっと考えたいと思えた体験でした。

青年の家でのリーダー同士の交流はとても楽しかったです。個性豊かな、それでいて自分なりの考え方をしっかりと持った皆さんとたくさん話をする事で多くの刺激を受けました。また別の機会でも是非会って話をしたいです。

また研修の時間では学生リーダーからスタッフ、ワイズの方々という幅広い年齢層のなかで今を取り巻くさまざまな問題について話し合えたことはとても貴重な経験になったと思います。皆さんそれぞれ違った観点から問題について考え、内容の濃い話し合いができました。

2日目の大会運営も普段なかなか体験できない仕事を任せられ、大変でしたが達成感も大きかったです。選手控えの場所で選手案内を担当したので、試合に臨む真剣な子ども達の表情が強く印象に残っています。また競技ドッジボールを観戦することが初めてで、小学生とは思えない迫力のある試合に魅了されました。とっても面白かったです。

最後になりますが、この2日間はぼくにとって非常に得るものの多かった、充実したものでした。このような機会を設けていただいたこと、そして参加できたことに感謝します。そして次回も是非参加したいと思います。本当にありがとうございました。

● 千葉 YMCA ユースボランティアリーダー3年 吉野 春奈 (あまさん)

2回目のアクト参加です。

前回同様、改めて今の社会を考え直すとても良い機会になりました。貧困率が増加しているなかで、リーダーとして私たちができることは、目の前にいる子供達になにかしら、きっかけを与えることなのではないかと思います。定例活動に来ているメンバー、キャンプに来ているメンバー、一人ひとりと丁寧に向き合って小さな幸せを共有できたらいいなと思いました。



同世代だけでなく、様々な世代の方と考えることで新しい視点にも立つことができ自分の考えをさらに深めることができました。考えたことをこれからのリーダー活動や将来の教育活動に有効活用していきたいです。自分が考えたこと、子供たちが動いたこと、こういったことから、まだ経験したことのない、たくさんのことを学んでいきたいです。

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー4年 鈴木 仁望（くらりす）

他 Y のリーダーだけでなく、ワイズの方や子供達とも関わる機会があり、始まるまでは緊張と不安でいっぱいでした。しかし、ディスカッションでは自分の知らないこと、異なる考えを知ることができました。2日目は、先を読むことや臨機応変に対応することなど、自分に足りてないものを知り、学ぶ機会にもなりました。私にとって最後のYMCAの活動が、たくさんの人と関わり、多くのことを吸収できたこのリーダーズアクトでとても良かったです。ありがとうございました！

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー4年 鈴木 稜奈（けろちゃん）

ディスカッションの時間ではとちぎのリーダーだけでなく、色々な方とコミュニケーションをとることができ、新たな発見がありました。

ドッジボール大会では子どもたちの活躍を見ることができました。勝つ喜び、負けた悔しさを感じた子どもたちはこうやって成長していくのだろうなあと思うと嬉しくなりました。その子どもたちの成長の1つに私がリーダーとして参加できたことはとても貴重な経験だったなと思います。

2日間という短い時間でしたが、私自信たくさんの学びがありました。やっぱりYMCAは素敵だなと感じることもできました。参加してとても良かったです。ありがとうございました。

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー3年 板橋 春季（だ〜ういん）

今回の様な活動は初めてだった為、最初は戸惑うことばかりでした。しかし同じ担当のリーダーとコミュニケーションを取り話し合う事で、戸惑っていた事が解消され、効率良く選手を誘導する事が出来ました。この活動を通じて、自分自身の課題が見つかったのと共に、いくつも学ぶことがあるなど、とても良い経験が出来たと思います。



● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー3年 荻原 亜実（さくら）

2020 リーダーズアクトは私にとって1年ぶりのYMCA活動参加でした。1日だけではありましたが、各地のYMCAの方とディスカッションを行ったり夜のレクを行ったりすることは改めてYMCAの良さ・魅力を感じる事が出来ました。

また、盛岡や千葉Yなど他地域の方々と会える機会があるのもリーダーズアクトならではのと思うので参加することが出来て良かったです!!

そして運営委員などアクトを開くために尽力して下さいました皆様ありがとうございました。

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 茨城 安里（らっきい）

昨年に参加させていただいてとても楽しかったので、今年もぜひ参加したいと思い、2日間参加しました。

1日目の挨拶のあと、栃木県や京都の子どもたちとグループを組みました。ドッジボールの子どもたちはYMCAのキャンプや日帰りプログラムには出たことがない子どもたちだったので、話しかけても普段プログラムで関わっているような子どもたちの反応とは違い、戸惑いました。しかし、夕飯の席では少しずつうちとけて、京都も栃木も関係なく楽しい時間を過ごすことができました。今までのプログラムでは、人懐っこい子どもたちが多かったので、全員が大人びた子どもたちの時に、どのように距離を縮めるのかを考えるよい機会になりました。

夜のキャンプファイヤーも、YMCAキャンプなどに出たことがない子供たちなので、リーダーが声を出して盛り上げるということを、普段のプログラム以上に意識しました。

また、1日目の夕方は盛岡YMCAやワイズの方々とはテーマに沿ってお話をする機会がありました。同じとちぎYMCAのワイズの方でもなかなか深い話をする機会はないので、ワイズの方がとちぎYMCAやリーダーの現状や未来をどう思っているかや、どうしていきたいかなどを聞くことができ、深い学びを得ることができました。この時の新しい学びをこれからの活動に生かしていけたらと思いました。

2日目のドッジボールでは、子どもたちが一生懸命に試合をする姿にとっても感動しました。顔にボールが当たってしまったり泣いてしまっても、涙をこらえてコートにとどまり試合を続ける姿に私も泣きそうになりました。

1日目に、わちゃわちゃとふざけていた子どもたちもドッジボールをしている姿は真剣でとてもカッコ良かったです。

2日間で貴重な経験をすることができてとても楽しかったです。来年も参加したいと思いました。



● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 栗林 文香（ばたこ）

私はリーダーズアクトへの参加が初めてだったのでわくわくドキドキしながら参加しました。

リーダーとワイズの方を交えたディスカッションの場ではたくさんの議題を話しました。リーダー世代の考え方とワイズの方の考え方に違いがあることもあり、こんな考え方もあるんだ～！とお互いに感心し合いながらざっくばらんに楽しく話し合いができました。

塩澤さんからの子どもの貧困解決とキャンプの関係性のお話の中で「見えない貧困」というワードがありました。見えない貧困のひとつとして“つながりの欠如”というものがああり、ドキっとしました。なぜならグループディスカッションの際に「みんなは住んでいる家のお隣さんを知ってる？名前言える？」という話題になり、私を含め一人暮らしのリーダーは答えることができなかつたからです。もし隣の人が困っていてもつながりを持っていないと助けられないし、私も助けを求められないんだと感じました。YMCAの活動だけでなく自分の生活の中でもつながりを意識したいと思いました。

トライ∞と京都 YMCA の選手のみなさんとワイズの方とリーダーで夕ご飯を囲む時間はとてもドキドキしました。初めまして同士「京都ってどこかわかる？」「盛岡って知ってる？」と出身のお話や夕ご飯のおかわりのお話をしました。3世代で夕食を囲む時間はリーダーにとっても、選手のみなさんにとっても、貴重な時間になったと思います。楽しかったです！

2日間ワイズの方や選手のみなさんなど年齢関係なく本当に多くの人と関わって、リーダー同士でもたくさんお話できて充実した時間を過ごせました。周りに仲間がいるから楽しい嬉しいんだなと感じる時間でした。ありがとうございました。

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 松尾 美咲（ころん）

2日間ありがとうございました。

栃木、千葉、盛岡のリーダーとワイズの方が集まる貴重な機会に参加できて、様々な刺激を受けました。

リーダーとワイズという異なる年代、栃木と盛岡と千葉という異なる環境、となかなか交流できない方とのディスカッションが特に印象に残っています。これまで自分が持っていなかった視点や考え方などを学ぶことができました。また、ディスカッション以外でも、他県のリーダーとたくさん話をし、キャンプや活動での出来事を共有することで、様々なことを学びました。

とても有意義な2日間でした。ありがとうございました。



● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 五十嵐 啓祐（べこ）

普段関わらない盛岡のリーダー等色々な人達と関わることが出来て、貴重な時間を過ごすことができました。子ども達のことについてもあまり真剣に考える機会がなかったのでこれからの YMCA の活動などに活かしていきたいと思います。

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 金井 修志（しんちゃん）

普段関わることの少ない千葉や盛岡のリーダーたちと意見交換や他県の活動の様子などたくさん話すことができ YMCA を通しての交友の輪を広げることができてよかった！

グループディスカッションでは話をしたことのない方と与えられた議題から自分の考えや思いを相手に言葉にして伝える時間が与えてもらい貴重な経験でき楽しかったです！

途中までの参加となりドッジボールのお手伝いもできず、千葉 Y や盛岡 Y のリーダーたちと早々お別れとなってしまったことが残念でした。次回このような機会がある時は、全てのプログラムに参加したいと思います！

● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 寺島 菜月（ぷりん）

アクト楽しかったです！！！！

ワールドカフェでは、全然話をしたことなくて話をしてみたかったリーダー・スタッフと同じグループになれました。色々な人の色々な思い悩みを聞いて、また自分の気持ちも聞いてもらえてとても楽しかったです。ワールドカフェで1番聞こえた声はお金は大事という声でした。私もそう思います。

ご飯の時は、小学生とたくさんお話ができて、特にバレンタインのお話で盛り上がりました。チョコをいくつ貰ったか競い合いそして褒め合いしている姿はとても面白く、可愛かったです。

リーダーだけの時間もワールドカフェでかかわれなかったリーダー達と一緒にゲームやお話が出来て楽しかったです。

途中までしかいれなかったのが残念でした。もっと話してもっと仲良くなりたかったです。

来年もアクトがあればまた参加して、人見知りせずみんなに話しかけておしゃべりの称号を貰えるくらい沢山おしゃべりしたいです！



● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー2年 海老名 優奈（えびちゃん）

私は2日間リーダーズアクトに参加させてもらいました。1日目の最初はディスカッションを行いました。他Yのリーダーやワイズの方々と同じグループになり様々なテーマについて話し合いました。ディスカッションのテーマは「小学生とキャンプ」などの話しやすい内容から「国家とお金」などといった難しい内容についてディスカッションしました。最初は何を話せば良いのだろうと思っていたのですが、グループメンバーの積極的な問いかけや話の切り出しによりどんどん自分の意見も言えるようになっていきました。ヒントブックがあったことにより難しい内容のテーマも身近に感じる事が出来ました。また、自分にはない考えや意見が多くあり、そのような考え方もあるんだなと視野を広げることができました。特にワイズの方の視点は私たちリーダーと違うところが多くあり、とてもよい学びになりました。テーマについてのディスカッションが終わった後は、とちぎYMCAの塩澤さんによる講話がありました。内容は子どもの貧困に関するものでした。子どもの貧困の現状を知ることができ、私たちに何が出来るのだろうかと考えさせられるような内容でした。1人のリーダーと子供のキャンプでの出会いについての話は、私たちリーダーの関わりで子供たちに大きな影響を与えることがあるのだととても感銘を受けました。講話後、グループでの話し合いの時間が設けられました。私のグループでは、人とのつながりが子供にとって大切、人とのつながりは絶対に奪ってはいけない、などという意見が出ました。ディスカッションの後はドッジボールの子供たちも交えてみんなで夕食を食べました。初めて会う子供たちばかりで何を話せば良いのだろうと緊張していましたが、同じグループにいたリーダーの「何年生からドッジボールをやってるの？」などと言った質問から会話が広がりコミュニケーションをとることができ、楽しい夕食の時間を過ごすことが出来ました。夕食後はリーダー・ワイズ・子供とその保護者全体でキャンドルファイヤーをし、楽しいひと時を過ごしました。キャンドルファイヤーが終わった後は翌日のドッジボール大会に向けてのミーティングやお風呂を済ませ夜の時間を過ごしました。私たちの部屋では、普段の活動についてや恋愛話などの話を沢山しました。普段関わることのない他Yのリーダーとも多く交流でき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

2日目はドッジボール大会の運営をお手伝いしました。私は子供たちの誘導を担当しました。昨年も同じ誘導を担当していたため、経験を生かすことができたかなと思います。目の前で行われているドッジボールの試合は迫力満点で誘導をしながらも見入ってしまいました。子供たちの頑張りにとっても感動させられました。私は2日間北東部ユースリーダーズアクトに参加して、様々な世代の方と関わる事ができとてもよい刺激を受けることが出来ました。また、1年振りに会うリーダーもいて再会できとても嬉しかったとともに、新たなリーダーとの出会いの場にもなり参加して本当に良かったです。今回のリーダーズアクトで学んだことを今後のYMCAでの活動に生かしていきたいと思います。



● とちぎ YMCA ユースボランティアリーダー1年 室橋 岳人（むろさん）

私は初めて栃木以外の YMCA のリーダー、スタッフ、そしてワイズの人たちと関わる機会ができ、とても楽しい時間過ごすことができました。他の Y のリーダー、ワイズの方とディスカッションをして、栃木の考え方とはまた違った考え方をしていて、勉強になりました。また、フリータイムでは他の Y のリーダーがとても接しやすく、すぐに仲良くなり、たくさん話すことができました。今回、リーダーズアクトに参加して、1日しか参加できなかったが、その中で、リーダーやスタッフ、ワイズの人たちと交流する中で、多くの発見や学びをして、とても意味のある時間になりました。楽しかったです！！

そして、マリオ、トマト、ふっか先輩、ゆう先輩、まなぴん先輩、ありがとうございました。

● とちぎ YMCA（マイホームきよはら） スタッフ 袖山 千歳（でっさん）

今回リーダーズアクトに参加するのは3回目で参加者側で参加するのは初めてでした。

最初にディスカッションでは盛岡・とちぎのリーダー、ワイズの方々と話していくなかで「愛」について考えました。さまざまなテーマで話を進めていき、愛がなければ無関心になると感じました。人に無関心になることで想いやる気持ちを忘れていた。愛し人を想うことで気に掛けることや心配することができ、支援の輪が広がるとディスカッションを通して考えました。

夕食からはドッジボールの子ども達と一緒に食事を囲むなかでドッジボールをしている時の真剣な表情と違い、楽しそうに話している姿をたくさん見ることができました。

今回リーダーズアクトに参加し子どもの貧困について普段の生活では身近に感じなかったがディスカッションを通して現状を知ることができ、今後の生活にも活かしていきたいと感じました。





<感想>とちぎ YMCA トライ∞ (代表3名)

● トライ∞ キャプテン 6年 関口 陽太 (背番号:1)

僕にとっての初めての経験です。それは、僕がやっているドッジボールチーム「トライ∞」が主催の、とちぎ YMCA 杯エンジョイドッジボール大会に京都の YMCA「京都 YMCA 童夢」が来て試合をすることです。YMCA 杯の前日に練習試合をしました。僕は、初めて関西のチームと戦うことがすごく楽しみでした。YMCA 杯の前日に交流試合をしました。僕はどんなチームなのかが気になり、ずっと見ているとすごく明るいいいチームだと思いました。その後の試合が楽しみでした。京都 YMCA 童夢とは、同じぐらいで、勝ったり負けたりしました。僕は明日の YMCA 杯が楽しみだと思いました。

YMCA 杯当日、僕たち6年にとって最後になるのでとにかく楽しもうと思いました。1試合目は京都 YMCA 童夢との試合でした1試合目ですごくきんちょうしていました。でも、試合が始まったら楽しく試合をすることができました。その後も、ジュニアの応えんなどもして、YMCA 杯の1日が終わりました。

とてもいい経験になりました。もう京都のチームと戦えないけど、これからもドッジボールの応えんなどをしていきたいです。

● トライ∞ 副キャプテン 6年 遠藤 壮悟 (背番号:2)

ぼくは京都 YMCA 童夢との合同練習や YMCA 杯で、チームの連携や信頼関係がより深まったと思います。とても楽しかったし、仲間と試合ができてとてもよかったです。

ぼくは4月で卒団してしまうけど、これからはドッジボールでやってきた経験を生かしてがんばりたいです。

● トライ∞ 6年 渡部 翔太 (背番号:7)

前日での交流会では、YMCA のボランティアの方々の支えにより、とても環境の良い体育館で京都 YMCA 童夢と楽しい交流ができました。YMCA 童夢とはドッジボールの試合や夕食などを通して、いろいろな関係ができました。明日は YMCA 杯本番なのでボランティアの方々に恩返しができるよう、がんばりたいと思います。

ついに YMCA 杯本番がきました。ドキドキ、わくわくの YMCA 杯が始まりました。第一試合目は京都 YMCA 童夢との対決、おたがいピリピリとした、空気の中、対決し、おたがいをしているので接戦でした。予選から全チームエンジョイできる大会だったと思います。ぼくは YMCA 杯=エンジョイドッジボール大会だと思いました。ここまでエン



ジョイできる大会はボランティアの方々、かんとく、コーチ、保護者の方々があってこそこのYMCA杯だったと思います。ぼくは6年生なので、この大会はこれで最後です。とてもさみしく思いました。ぼくは、また1年生にもどってまたYMCA杯にでたいと思いました。こんないい大会を開くことに関わった方々本当にありがとうございました。





京都 YMCA 童夢より

とちぎ YMCA スタッフ・リーダー・ワイズメンズクラブの皆様へ

※一部抜粋

とちぎ YMCA エンジョイドッジボール大会そして前日からの練習試合・キャンドルサービス等本当にありがとうございました。子ども達にとってはドッジボールクラブ創設約20年で初の関東圏の遠征になりました。大会においてはなかなか対戦できない東日本の強豪チームとも対戦ができ、成績も童夢（オフィシャル）はベスト8、童夢8（ジュニア）は優勝という結果を出すことができとても満足のいくうれしい大会になりました。

前日の練習試合では同じ YMCA 所属のチームでありながらなかなか交流ができませんでしたがトライ∞の選手みんながとても元気があり、子ども達同志でなかよく話している場面も多く見ることができとても良かったとお思います。保護者の皆様には本当にお世話になり色々なお話をさせていただくことができとても楽しい時間を過ごすことができました。

創設8年目のチームとお聞きしましたが保護者の協力がしっかりできているチームだと思いました。現在の童夢も保護者の方の協力がありチームが運営できていると思っています。

夜にはとちぎ YMCA のスタッフ・リーダーを中心にキャンドルサービスのプログラムに参加をさせていただくことができ、京都 YMCA ユーススポーツの所属メンバーでありながら日頃は YMCA のリーダー達とあまり接することがない童夢の子ども達からは普段あまり見ることができない姿もあり楽しく拝見させていただきました。

1泊2日の大会遠征でしたが子ども達にとってはとても大きな経験になり楽しく過ごすことができ、帰る時には忙しいのにわざわざ宇都宮駅まで多くのリーダー達が見送りにも来ていただき、2019年度の最後の子ども達と一緒に行く楽しい旅行になりました。

京都 YMCA のドッジボールクラブとしては2019年度で終了しますが、童夢は2020年も活動をしていきます。自分も60歳になり第2の人生をまた童夢と共に新しい目標に向かって子ども達と一緒に歩いていければと思っています。

最後にとちぎ YMCA 総主事・スタッフ・リーダー・トライ∞選手と保護者・リーダー・ワイズメンズクラブメンバーの皆様には素晴らし大会とイベントに招待していただき感謝しています。ありがとうございました。

京都 YMCA 事業部ユーススポーツ担当ディレクター・童夢監督 山田 誠



<感想> 京都 YMCA 童夢の子どもたち

《オフィシャルチーム 京都 YMCA 童夢》



とちぎ大会に呼んでくださってありがとうございました。卒団前にとってもいい思い出となりました。(西裏 一咲 背番号：1番)

とちぎ YMCA 杯に呼んでくださりありがとうございました。
僕たち6年生にとっては最後の試合となってしまいましたが、とても楽しい大会になりました。これからもスポーツを頑張っていきます。(金澤 龍 背番号：3番)

とちぎ YMCA のスタッフの方々、エイト∞の選手の皆試合によんでくれてありがとうございました。小6最後に良い思い出になりました。(井上 亜門 背番号：5番)

大会に呼んで下さってありがとうございました。結果はベスト8でした。
悔しいですが、楽しかったです。また、来年も呼んで下さい。宜しくお願いします。
(中田 聖梧 背番号：6番)

大会や練習試合に呼んでくださりありがとうございます。いい結果は残せなかったけど恩を返す気持ちでいました。来年からもいい結果を残してください。本当にお世話になりました。あとご飯とてもおいしかったです。(米田 一誠 背番号：7番)



栃木に行かせてもらってありがとうございました。僕たちは引退しますがこれからもみなさんががんばってください。(伊地智 淳 背番号：8番)

栃木の大会によんでくださってありがとうございます。大会でベスト8をとり、全国に行くプニーズに勝ててうれしかったです。来年もよんでください。

(橋本 翔喜 背番号：10番)

遠い栃木まで呼んでくださってありがとうございます！6年生の人、残り少ないドッジ生活を楽しんで下さい。楽しい試合をありがとうございました。

(大野 結雅 背番号：11番)

試合に呼んでもらってありがとうございました。2日間とても楽しかったです。関東大会がんばってください。(後藤 隆之介 背番号：12番)

栃木に呼んでいただきありがとうございました。

僕は栃木に初めて行きました。栃木のエイトは強いし、キャッチも上手かったから、その良いところを真似して僕たち童夢も頑張りたいです。また全国で会いましょう。

(亀石 大雅 背番号：13番)

この前はありがとうございました！

みんなでチームを混ぜて一緒にドッジボールが出来て楽しかったです。

友達にもなれたから、また会うことが出来たら嬉しいです(^^)

(鈴木 皐惺 背番号：18番)





《ジュニアチーム 京都 YMCA 童夢8》



リーダーや保護者、スタッフの方々、大会に呼んでいただきありがとうございました。とても楽しい、2日間でした。また大会に呼んでもらえたら、嬉しいです。ありがとうございました。(三宅 優磨 背番号：1番)

とても素晴らしい大会によんでくださりありがとうございました。また、いろいろな企画をしてくださり、楽しかったです!! ありがとうございました。(北村 健成 背番号：2番)

とちぎ YMCA のみなさん、試合に招待してくれてありがとうございます。とても貴重な体験でした。試合楽しかったです。(糺谷 元 背番号：3番)

2日間お世話になりました。トライのみんなと一緒にごはんを食べたり遊んだりして楽しかったです。また会った時には、もっと強くなって試合したいです。😊
(木村 海心 背番号：4番 オフィシャル9番)

初の関東の大会、楽しく貴重な経験でした。友達もでき、仲良くしてもらい、良い思い出ができました。本当にお世話になり、ありがとうございました。
(夏原 一華 背番号：6番 オフィシャル2番)



とちぎYMCA トライ∞のスタッフ、リーダー、役員、選手のみなさま約2日間ありがとうございました。夜の楽しいキャンドルプログラムも大会も新幹線も全てが楽しい今まで一番楽しい遠征になりました。ありがとうございました。またよんでください。

(山本 珠 背番号：7番)

呼んでくれてありがとうございました！

京都の方言をおもしろがってもらえたことが嬉しかったです

また大会で対戦することがあったらそのときはよろしくお願いします

(藤原 堇 背番号：8番)

とちぎYMCA杯によんでいただき、ありがとうございました。大会も練習試合も、一緒にできて楽しかったです。またトライのみんなと試合がしたいです。

(大牧 純也 背番号：9番)

栃木の皆さま、ありがとうございました。キャンドルナイトは初めてで感動しました。

また京都にも来て下さい。(紺 雄貴 背番号：12番)

栃木県の試合に呼んでくださりありがとうございます。

次の大きな試合の時も、一緒に頑張っていきたいです。(今井 蓮 背番号：14番)



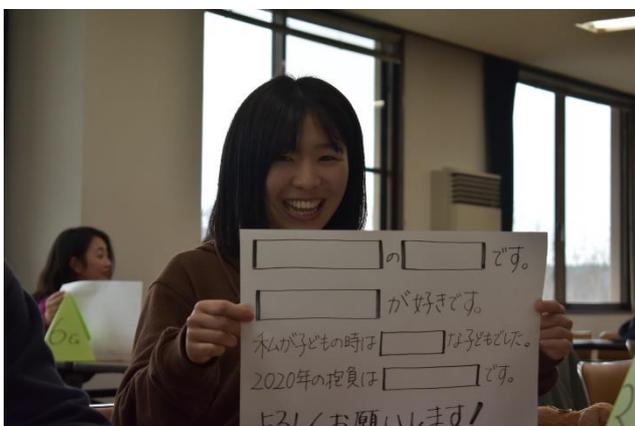
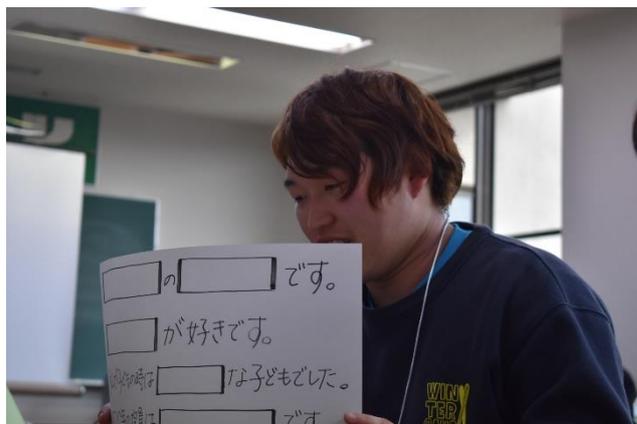


思い出のアルバム



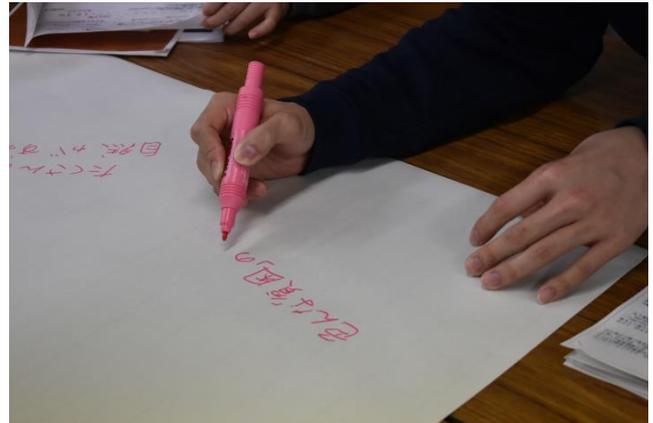


思い出のアルバム





思い出のアルバム





思い出のアルバム





思い出のアルバム





思い出のアルバム





思い出のアルバム





北東部ユース・リーダーズ・アクト2020

～相手を知り、自分に気付く～

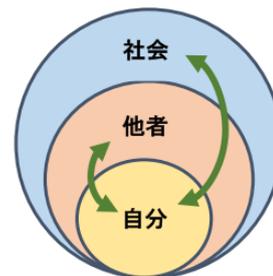
■ 日程：2020年2月15日（土）・16日（日）1泊2日

■ 場所：2月15日（土） 芳賀青年の家

（〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子 4470）

2月16日（日） 清原体育館

（〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 14）



■ 2月15日（土） 『北東部ユース・リーダーズ・アクト2020』

様々な社会問題をテーマに取り上げ、話し合いを行います。

夕食後には、ドッジボールチームの子どもたちとキャンププログラムを楽しみます。

■ 2月16日（日） 『第8回とちぎYMCA杯 エンジョイドッジボール大会』

清原体育館にて約30のドッジボールチームが参加し、交流戦を行います。

（ユースボランティアリーダーは運営の手伝いや子どもたちの応援や交流をする予定です。）

■ スケジュール（予定）

2月15日（土）		2月16日（日）	
13:00	芳賀青年の家 集合	6:00	起床
13:15	北東部リーダーズアクト開会	7:00	移動
14:00	ディスカッション	7:30	エンジョイドッジボール大会 運営
18:00	夕食	18:00	
19:00	夜のキャンププログラム with ドッジボールの子どもたち		
20:00	入浴・フリータイム・交流会		
22:00	就寝	18:00	清原体育館 解散

■ 主催 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部・とちぎYMCA

■ 協力 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

■ 事務局 北東部ユース・リーダーズ・アクト2020事務局





第8回 とちぎ YMCA 杯 エンジョイ ドッジボール大会

一本キャッチ！
狙えアタック！
こころをひとつに
真剣ドッジ！！



2020.2.16 [日]

会場 **清原体育館**

(栃木県宇都宮市清原工業団地 14)

5 分間の熱き闘い、
あの感動をココで
みんなで味わおう！！



【競技種目】

- ① 男女混合の部 (小学 3 年生～6 年生 12 人制)
栃木県内外 24 チーム予定
 - ② ジュニアの部 (小学 1 年生～4 年生 8 人制)
栃木県内外 10 チーム予定
- ※①・②とも男女は問わない。

ドッジボール大会 とちぎ YMCA 🔍

【主催】 公益財団法人とちぎ YMCA・ドッジボールチーム トライ∞
【主管】 栃木県ドッジボール協会
【後援】 宇都宮市／栃木県教育委員会／宇都宮市教育委員会／下野新聞社／とちぎテレビ
【申請中】 エフエム栃木／栃木放送／宇都宮ケーブルテレビ／宇都宮コミュニティ FM「ミヤラジ」
栃木よみうり／ワイズメンズクラブ国際協会 (東日本区・北東部・宇都宮・宇都宮東)

とちぎ YMCA

ドッジボール大会事務局

〒321-0962 栃木県宇都宮市今泉町 3007 番地 宇都宮市青少年活動センター内
Tel 028-663-3155 Fax 028-662-6540





第1回ユース・リーダーズ・アクト@仙台 YMCA



第2回ユース・リーダーズ・アクト@仙台 YMCA



第3回ユース・リーダーズ・アクト@仙台 YMCA



第4回ユース・リーダーズ・アクト@とちぎ YMCA



第5回ユース・リーダーズ・アクト@とちぎ YMCA

